

CSVの基礎知識と戦略立案・展開への課題

～企業における『Creating Shared Value：社会と共有できる価値の創造』とは～

■日時■ 2017年 11月15日 水曜日 13:30～16:30

■会場■ 東京・麹町 企業研究会 セミナールーム

■講師■ (株)野村総合研究所 コーポレートイノベーションコンサルティング部
プリンシパル 国際公共政策博士 伊吹 英子 氏



■ご参加いただきたい皆様■

1. CSR/ESG/CSV経営の重要性を認識している企業で

- CSV経営の基礎知識を習得されたい方
- CSV経営の重点実務を後進に指導されたい方

2. CSR/ESG/CSV戦略を展開している企業で

- CSR/ESG/CSV戦略を経営の中核に位置づけたいと考えている方
- CSV経営への移行を模索されている方
- 事業部門を巻き込んだCSR経営/CSV経営を実現したい方

左記企業の
◇経営層(トップ、役員)
◇CSR部門スタッフ
◇企画部門スタッフ
◇広報・IR部門スタッフ
◇人事・総務・法務部門スタッフ
◇事業部門スタッフ&ライン

■本研究講座の特長：「CSV経営の基礎知識と経営強化に資するCSV経営実践」の重要コンセプト■

近年、CSV (Creating Shared Value ; 共通価値の創造) に関する関心が高まっています。とりわけ、海外を含む先進企業は、従来、持続的な成長のため“サステナビリティの観点”を経営の中核や事業戦略そのものとして積極的に取り入れるようになり、CSV経営の成功事例が多く紹介されるようになってきました。

日本では、2003年以降、CSR (Corporate Social Responsibility ; 企業の社会的責任) に関する企業の取り組みが急速に進展し、CSRを経営強化に活かそうとする動きが活発化してきました。しかしながら、真の意味で企業成長にプラスに寄与する戦略を持ち、それが事業部門にも浸透・徹底される形でCSV経営が実践されている日本企業は数少ないのが現状です。今後は“従来のCSR経営”とは一線を画した“CSV経営”を模索する企業が増え、企業の取り組みも一層進展することが想定されます。投資家に関わるESG経営の動向にも着目する必要があります。

本講座では、従来のCSR経営からCSV経営へのパラダイムシフト (思考転換) を実現するための「CSV経営の基本的考え方」を説明するとともに、その実現に向けた社内展開方法などの基本実務・方法論について企業事例を取り入れながら説明いたします。また、CSV経営の概念のみではカバーしきれない従来のCSR経営との共存のあり方や今後の推進方法についてもご紹介いたします。CSV経営を実践する上で、実務を再確認したい、CSV経営への移行に向けて抜本的糸口を見出したい皆様に、是非ご出席いただければと存じます。

●参加要領●

●受講料● 1名 (税込み、資料代含む)

正会員	32,400円	本体価格 30,000円
一般	35,640円	本体価格 33,000円

●当ホームページからお申込み下さい。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

企業研究会セミナー

- お申込み後 (開催日1週間～10日前までに) 受講票・請求書をお送り致します。
- お申込後のキャンセルは原則お受け致しかねますので、ご都合が悪くなった際は、代理出席をお願い致します。
- 最少催行人数に満たない場合ほか、諸般の事情により開催を中止させていただく場合もございます。
- 申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の操作方法 (O 発信の有無など) をご確認の上、FAX番号のお間違えにご注意ください

一般社団法人 企業研究会
担当：早瀬 E-mail: hayakan@bri.or.jp
102-0083 千代田区麹 5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F
TEL 03-5215-3513 FAX: 03-5215-0951

弊会ホームページからのお申込みが便利です。https://www.bri.or.jp

171690-0104※		17・11・15 CSVの基礎知識と戦略立案・展開への課題	
会社名			
住所		〒	
TEL		FAX	
部課 役職		フリガナ	
		お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ	
		お名前	
e-mail			

※お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

●プログラム●

13:30

第Ⅰ部 CSV経営の基礎知識と実践に向けた課題

1 なぜ、CSV経営なのか？

- ・CSR/CSV経営を取り巻く外部トレンド
 - 国連SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)
 - 資本市場におけるESG (E: 環境、S: 社会、G: ガバナンス) への関心の高まり
 - グローバルレベルでのサプライチェーン上のリスク増 (人権等) など
 - ・CSR経営の基本的考え方
 - 氷山のバランス・シートのコンセプト
 - CSV経営の実践3領域
 - ・日本企業におけるCSR経営の歴史的変遷
 - ・今、多くの日本企業が抱えるCSR経営課題
 - 経営全体におけるCSRのあり方、事業部門が主導するCSR経営への進化
 - CSVマネジメントシステムの全社経営管理システムへの融合 など
 - ・なぜ、今、CSV (Creating Shared Value: 共通価値の創造) 経営なのか？

2. CSV経営の基本概念～CSR経営からCSV経営へのパラダイムシフト

- ・CSV (Creating Shared Value: 共通価値の創造) 経営の基本概念
- ・CSRとCSVの違い
 - 概念・コンセプトの違い
 - 推進・展開方法の違い
 - ・CSV経営の先進企業事例
 - ・CSR経営とCSV経営の共存のあり方

15:00
休憩
15:10

第Ⅱ部 CSV経営の展開に向けた具体的方法論と実践ノウハウ

1. CSV経営への移行 (導入) ステップ

- ・CSV経営の導入に向けたステップ
 - 事業に関わる外部トレンド (経営・社会) の把握と現状課題整理
 - CSV経営コンセプト・ビジョンの検討～ビジョンを構成する要素～
 - 全社経営ビジョン・経営計画・マネジメントシステムとの融合のあり方
 - 事業を通じて取り組む社会的課題の特定～国連SDGsの活用～
 - ・事業中心のCSV経営と経営基盤を形成するCSR経営の推進のあり方
 - ・経営トップ・役員層のリーダーシップの重要性～事業主導への転換に向けて～

2. 事業部門主導によるCSV経営実践に向けた方法論

- ・社内・事業部門への展開の考え方と具体的方法論
 - 個別事業領域に関わる社会課題のトレンドや機会・リスクの把握
 - 事業部門とのダイアログの展開方法・動機づけ・インセンティブ付与
 - 外部ステークホルダーとのダイアログのあり方
 - CSR推進組織・会議体 (委員会等) のあり方・役割・社内連携
 - ・CSV経営のPDCAサイクルの設計と経営計画との整合性
 - 計画・目標・評価指標設定
 - 目標の集約と進捗管理 (経営報告と評価・フィードバック)

3. CSV経営の実践に向けた課題と日米欧企業における先進事例

- ・CSV経営ではカバーされない“従来のCSR経営課題”への対応
- ・今後の展望～CSV経営のゴールとは～
- ・日欧米企業におけるCSR/CSV成功事例

16:30

《質疑応答は講義中に随時・適時承ります》

※講師と同業企業・同職種の方はご参加頂けない場合がございます。予めご了承ください。